

SYLLABUS

シラバス

令和8年度前期

歯科衛生士科 3年次

医療法人社団 慈恵会
神戸総合医療専門学校

歯科衛生士科 教育課程（令和8年度前期）

3年次

科目名	単位数	時間数	年次	時期	科目名	単位数	時間数	年次	時期
生物学	2	30	1	前期	歯科診療補助Ⅳ	1	30	2	後期
化学	2	30	1	前期	歯科診療補助Ⅴ	1	15	3	前期
心理学	1	15	1	前期	歯科材料学	1	15	1	後期
倫理学	1	15	1	前期	医療安全	1	15	2	前期
歯科英語	1	15	1	後期	臨床検査	1	15	2	前期
保健体育	2	30	1	前期	臨床指導教育Ⅰ	1	15	1	前期
キャリアデザインⅠ	1	15	1	前期	臨床指導教育Ⅱ	1	15	2	後期
キャリアデザインⅡ	1	15	3	後期	臨床指導教育Ⅲ	1	15	3	前期
情報処理	2	30	1	前期	臨床実習Ⅰ	1	45	1	後期
解剖・生理学Ⅰ	2	30	1	前期	臨床実習Ⅱ	9	405	2	後期
解剖・生理学Ⅱ	2	30	1	前期	臨床実習Ⅲ	10	450	3	前期
口腔解剖学	2	30	1	前期	摂食嚥下	2	30	2	前期
口腔生理学	2	30	1	後期	チーム医療	2	30	2	前期
生化学・口腔生化学	2	30	1	後期	関連医学・医学概論	2	30	2	前期
微生物学・口腔微生物学	2	30	1	前期	看護学	1	15	2	前期
病理学・口腔病理学	2	30	1	後期	医療事務・受付	1	15	3	後期
薬理学・歯科薬理学	2	30	1	後期	総合歯科演習	1	30	3	後期
衛生・公衆衛生	2	30	1	前期	歯科衛生学特論Ⅰ	2	60	3	後期
口腔衛生学	2	30	1	前期	歯科衛生学特論Ⅱ	1	30	3	後期
情報統計学	2	30	1	後期					
衛生行政	2	30	2	前期	歯科衛生学特論Ⅲ(臨時開講科目)	1	30	3	前期
歯科衛生士概論	1	15	1	前期	歯科衛生学特論Ⅳ(臨時開講科目)	1	30	3	後期
歯科臨床概論	1	15	1	前期	歯科衛生学特論Ⅴ(臨時開講科目)	1	30	3	後期
保存修復学	1	15	1	後期	歯科衛生学特論Ⅵ(臨時開講科目)	1	30	3	後期
歯内療法学	1	15	1	後期					
歯周病学	1	15	1	後期					
歯科補綴学	2	30	1	後期					
小児歯科学	2	30	1	後期					
障害者歯科学	1	15	1	後期					
歯科矯正学	2	30	1	後期					
口腔外科学	2	30	2	前期					
歯科麻酔学	1	15	2	前期					
高齢者歯科学	2	30	2	前期					
歯科放射線学	1	15	2	前期					
先端医療	2	30	2	前期					
歯周病予防処置Ⅰ	2	45	1	前期					
歯周病予防処置Ⅱ	2	45	1	後期					
歯周病予防処置Ⅲ	2	45	2	前期					
歯周病予防処置Ⅳ	1	30	2	後期					
5蝕予防処置	2	45	2	前期					
歯科保健指導Ⅰ	1	30	1	前期					
歯科保健指導Ⅱ	1	30	1	後期					
歯科保健指導Ⅲ	1	30	2	前期					
歯科保健指導Ⅳ	2	45	2	後期					
歯科保健指導Ⅴ	1	30	3	前期					
歯科保健指導Ⅵ	1	30	3	後期					
栄養指導	2	30	2	前期					
歯科診療補助Ⅰ	2	45	1	前期					
歯科診療補助Ⅱ	2	45	1	後期					
歯科診療補助Ⅲ	2	45	2	前期					

令和8年度シラバス

歯科衛生士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
歯科保健指導 V		講義・演習	竹村 法子・野崎 愛	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)		15 回	3 年次	前期
授業の目的・概要				
1. 高齢者施設および聴覚支援学級での健康教育実習に向けて、対象者理解・指導計画の立案・媒体作製を行う。 2. 歯科衛生過程では、臨床において歯科保健指導を行う際に必要な知識と実践的なプロセスを学ぶ。				
授業の到達目標				
1. 高齢者施設および聴覚支援学級の対象者の背景・特性を説明できる。 2. 多様な対象者への適切な健康教育の内容と方法を説明できる。 3. 歯科衛生過程の具体的な手順と進め方を理解し、事例に沿った演習が実践できる。				
授業計画				
回	内容			
1	高齢者施設における健康教育の準備			野崎
2	高齢者施設における健康教育の準備			野崎
3	聴覚支援学級における健康教育実習			野崎
4	聴覚支援学級における健康教育実習			野崎
5	口臭症 P151-153, 歯科衛生過程の進め方① P66-89 概要	小テスト	野崎	
6	歯科衛生過程の進め方② P66-89 問題解決	小テスト	野崎	
7	歯科衛生過程の進め方③ P66-89 構成要素	野崎		
8	歯科衛生過程の進め方④ P66-89 歯科衛生診断	小テスト	野崎	
9	歯科衛生過程の進め方⑤ P66-89 歯科衛生計画・歯科衛生介入	小テスト	野崎	
10	歯科衛生過程の進め方⑥ P66-89 歯科衛生評価・記録	野崎		
11	歯科衛生過程の進め方⑦ P66-89 まとめ	小テスト	野崎	
12	歯科衛生過程演習	臨床実験室	野崎	
13	歯科衛生過程演習	臨床実験室	野崎	
14	高齢者への集団指導について講義			竹村
15	高齢者への集団指導に使用する媒体作製、10分プログラム発表			竹村
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	50%			
レポート・課題	15%	評価基準については別途示す		
小テスト	25%			
その他	10%	演習への取り組みなどを評価 (評価基準については別途示す)		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論	全国歯科衛生士教育協議会		医歯薬出版株式会社	
最新歯科衛生士教本 歯科衛生学総論	全国歯科衛生士教育協議会		医歯薬出版株式会社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
よくわかる歯科衛生過程	全国歯科衛生士教育協議会		医歯薬出版株式会社	
自由記載				
備考				

令和8年度シラバス

歯科衛生士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
歯科診療補助Ⅴ		講義	大脇 利美・三村 明美	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間（1 単位）		8 回	3 年次	前期
授業の目的・概要				
歯科診療補助の方法を学び、歯科衛生士業務に必要な知識・技術を習得する。				
授業の到達目標				
1. 歯科診療における患者さんの安全に配慮し、知識、技術を取得する。 2. アセスメントの取り方、ケアプランの立て方を習得する。				
授業計画				
回				
1	アセスメントの取り方、ケアプラン	(大脇)		
2	アセスメントの取り方、ケアプラン	(大脇)		
3	特別な配慮が必要な患者対応	(三村)		
4	歯科訪問診療時の補助	(三村)		
5	主な全疾患とその対応① 代謝、内分泌疾患、消化器疾患	(三村)		
6	主な全疾患とその対応② 循環器疾患、呼吸器疾患、免疫、膠原病	(三村)		
7	主な全疾患とその対応③ 感染症、神経系疾患、精神疾患	(三村)		
8	静脈路確保・点滴の準備	(三村)		
成績の評価方法及び基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	80%			
レポート・課題	20%	課題に対し適切にレポート作成ができているかを評価する（評価項目は別途示す）		
小テスト				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論	全国歯科衛生士教育協議会		医歯薬出版株式会社	
歯科衛生士国家試験ポイントチェック5	歯科衛生士国家試験対策検討会		医歯薬出版株式会社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
備考				

令和8年度シラバス

歯科衛生士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
臨床指導教育Ⅲ		講義・演習	藤澤 仁美・三村 明美 野崎 愛・今川 由香	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間（1 単位）		8 回	3 年次	前期
授業の目的・概要				
<p>これまでに学習した歯科衛生士としての専門的知識および技術を整理し、臨床実習Ⅲに向けた準備を行う。基本的な歯科衛生士業務を実際の臨床を想定して確認し、行動できる力を身につけることを目的としている。</p>				
<p>1. 歯周病予防処置の実践的な知識を応用する。 2. 歯周病予防処置の実践的な技術を応用する。 3. 歯科衛生士として求められる医療の役割を理解する。 4. 臨床実習に主体的に取り組む。</p>				
授業計画				
回	内容			
1	医療面接 PCR TBI			臨床実習室
2	医療面接 PCR TBI			臨床実習室
3	機械的スケーラー エアースケーラー			臨床実習室
4	機械的スケーラー 超音波スケーラー			臨床実習室
5	機械的スケーラー エアースケーラー			臨床実習室
6	機械的スケーラー 超音波スケーラー			臨床実習室
7	プロービング 歯面研磨			臨床実習室
8	プロービング 歯面研磨			臨床実習室
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート・課題	100%	評価基準は別途示す。		
小テスト				
その他		必要に応じてプリントを配布する。		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
備考				

令和8年度シラバス

歯科衛生士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
臨床実習Ⅲ		実習	三村 明美・野崎 愛 藤澤 仁美・今川 由香	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
450 時間 （ 10 単位）		回	3 年次	前期
授業の目的・概要				
<p>口腔保健を担う専門職として必要な知識を身につける。臨地にいる歯科衛生士の役割を理解する。対象者の問題を総合的に把握し理解する能力を身につける。 保健・医療・介護・福祉の場において多職種と協働する能力を身につける。 コミュニケーション能力を身につける。自己を客観的に評価し、自ら向上する態度を身につける。</p>				
授業の到達目標				
<p>1. 病院歯科の役割・機能が理解できる。 2. 医療安全・感染対策が理解できる。 3. 歯周治療について理解を深める。 4. 訪問歯科での歯科衛生士の役割が理解できる。 5. 高齢者の口腔ケアが理解できる。 6. 障がい者の特性が理解できる。 7. 年齢に応じた保健指導ができる。</p>				
授業計画				
回	内容			
	実習ガイダンス			
	歯科診療所実習			
	総合病院実習			
	高齢者施設実習			
	障害者施設実習			
	保育園実習			
	実習の振り返り			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート・課題				
小テスト				
その他	100%	実習項目により評価します（ガイダンスで説明する）		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
備考				

令和8年度シラバス

歯科衛生士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
歯科衛生学特論Ⅲ（臨時開講科目）		講義	野崎 愛・今川 由香	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	3 年次	前期
授業の目的・概要				
国家試験の専門基礎科目に関する知識の整理・再確認を行い、問題演習を通して応用力の向上を図る。				
授業の到達目標				
1. 国家試験の専門基礎科目における主要な知識を理解し、国家試験レベルの問題を自力で解答できる。 2. 誤答の原因を分析し、知識の不足や理解の誤りを自ら修正できる。 3. 弱点領域を把握し、補強のための学習計画を立案できる。				
授業計画				
回	内容			
1	国家試験対策（専門基礎科目）① 解剖学			野崎
2	国家試験対策（専門基礎科目）② "			野崎
3	国家試験対策（専門基礎科目）③ 生理学			今川
4	国家試験対策（専門基礎科目）④ "			今川
5	国家試験対策（専門基礎科目）⑤ 病理学			今川
6	国家試験対策（専門基礎科目）⑥ "			今川
7	国家試験対策（専門基礎科目）⑦ 微生物学			野崎
8	国家試験対策（専門基礎科目）⑧ "			野崎
9	国家試験対策（専門基礎科目）⑨ 薬理学			野崎
10	国家試験対策（専門基礎科目）⑩ "			野崎
11	国家試験対策（専門基礎科目）⑪ 口腔衛生学			今川
12	国家試験対策（専門基礎科目）⑫ "			今川
13	国家試験対策（専門基礎科目）⑬ 衛生学・公衆衛生学			野崎
14	国家試験対策（専門基礎科目）⑭ "			野崎
15	国家試験対策（専門基礎科目）⑮ 生化学			今川
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート・課題				
小テスト				
その他	100%	演習への取り組みなどを評価		
自由記載	評価基準については別途示す			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
備考				